特　集

9月1日は防災の日
備えあれば憂いなし

事前にできることを もう一度確認しましょう！

問合先／総務課（979-8103）

「備えあれば憂いなし」
～常日頃から準備をしていれば、突然何があっても心配することはないこと～

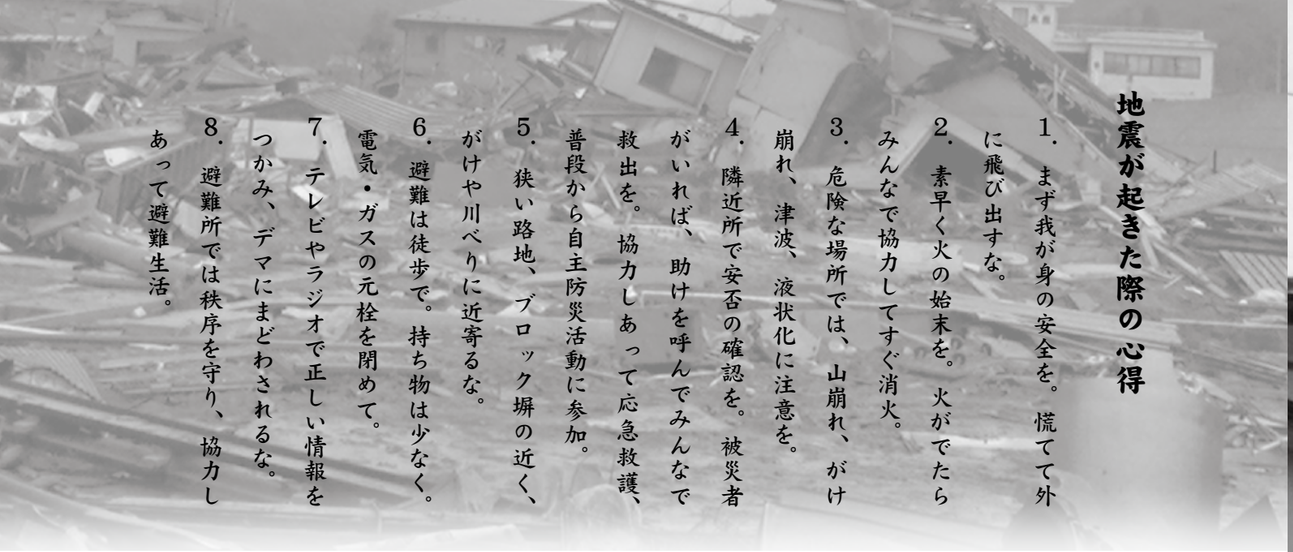
災害はいつどこで起こるかわかりません。地震や豪雨などの自然現象は、人の力で食い止めることはできませんが、被害は私たちの日頃の努力によって減らすことが可能です。

東海地震の発生の可能性は、日々高まっていると言われています。

いざ地震などの災害が発生したときの準備は万全ですか？

地震などの災害の発生に備えて、避難行動や防災グッズなどを確認しましょう。

また、8月26日（日）などに町内各地区で総合防災訓練が行われます。公民館などの一次避難地の確認や隣近所での安否確認の訓練のためにも、ぜひ皆さんで参加しましょう。



地震が起きた際の心得

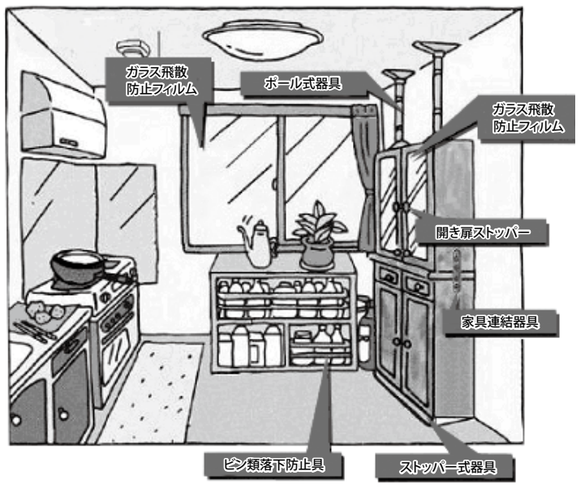
1. まず我が身の安全を。慌てて外に飛び出すな。
2. 素早く火の始末を。火がでたらみんなで協力してすぐ消火。
3. 危険な場所では、山崩れ、がけ崩れ、津波、液状化に注意を。
4. 隣近所で安否の確認を。被災者がいれば、助けを呼んでみんなで救出を。協力しあって応急救護、普段から自主防災活動に参加。
5. 狭い路地、ブロック塀の近く、がけや川べりに近寄るな。
6. 避難は徒歩で。持ち物は少なく。電気・ガスの元栓を閉めて。
7. テレビやラジオで正しい情報をつかみ、デマにまどわされるな。
8. 避難所では秩序を守り、協力しあって避難生活。

家具の固定で身を守る

地震のとき、家具の転倒、棚からの物の落下、ガラスの破損によって死亡する人や、けがをする人がたくさんいます。

タンス・食器棚などの家具や、冷蔵庫・テレビなどの家電製品の転倒や落下の防止対策・ガラスの飛散防止対策を行ってください。

特に寝る場所には、家具を置かないようにするなど必ず対策を行い、地震の犠牲にならないよう、安全に対する備えをしましょう。



家の中をチェックしましょう！

- ☐ 寝室やリビングなどにある家具に、転倒防止対策を行っている。
- ☐ ポール式器具（つっぱり棒）で固定している家具の下側にストッパー式器具（くさび型で家具を壁側に傾斜させる器具）や粘着マットを併用している。
- ☐ ポール式器具（つっぱり棒）を使用する際、天井に強度がない場合、器具上部と天井との間に当て板を入れて補強をしている。
- ☐ L型金具で家具を固定する場合、壁内の間柱など、強度がある部分にネジ止めを行っている。
- ☐ 家電製品は、取扱説明書に従い、転倒防止対策を行っている。
- ☐ テレビや電子レンジなどは本体を台に固定するとともに、台も壁や床などに固定している。
- ☐ 家具や冷蔵庫の上に落下しやすい物を置いていない。
- ☐ ガラス扉のある家具に、収納物が飛び出さないよう、扉に開放防止器具をつけたり、割れたガラスが飛散しないようフィルムを張っている。
- ☐ 家具が転倒しても逃げ道を塞がない置き方をしている。